



1年 中村 祐香さん

※かきじゆんと  
かたちになき  
つけて、かき  
ました。

			か	た		青
	一		っ	こ		い
中	ね		て	が		大
む	ん		い	い		空
ら			き	き		に
			ま	お		む
			す	い		か
ゆ				よ		っ
う				く		て
か				あ		



2年 斉藤 哲郎さん

※ふしぎなくぎ  
からおもしろ  
い形の花がさ  
いて、いろい  
ろな虫があつ  
まるんだよ。



『虫のあつまる花』

あつまれ みんなの力作

春かぜ

吉田 枝里香



3年 吉田枝里香さん

※字の形をとこ  
のえるのが大  
へんでした。  
ひらがなはう  
まく書けたと  
思います。



4年 井上和和子さん

※一枚一枚、回  
を重ねること  
に思い通りに  
書けるように  
なり、嬉しかつ  
たです。

わたり鳥

井上和和子



5年 大木あゆみさん

※「美」という  
字のバランス  
をとるのが、  
とても大変で  
した。

美しい心

大木 あゆみ



6年 庄司 愛さん

※「長」の形を  
とるのが大変  
でした。一文  
字一文を丁  
寧に書きまし  
た。

長い砂浜

庄司 愛

ひかり俳壇



花輪一つ葬家を示す冬灯り

大木 素風 (二又)

布施 和代 (二又)

大寒やびしりと竹の割るる音

川島 孝夫 (二又)

笹鳴きや手入れとどかぬ大垣根

川島 通則 (二又)

日の色を一日ひとひの千大根

越川 義則 (二又)

俺らが村幸多かれと初日の出

選者吟 選者 大谷 武彦

犬連れと見ゆる足跡雪小路

いよいよ、横芝光町の新町誕生を迎えます。

光町俳句短歌会も新町の文化協会の一員として  
目下準備中です。俳句は、感動がなくては成らな  
い合点のゆくもの、純粋な気持ちで心の底から詠  
い上げましょう。

今月の選句は、一月の句会が中止となり急遽大  
木素風先生にお願いし、二又句会の原稿を頂いて  
選句いたしました。

(文責 大谷)